

1. 検討の背景・目的

インフラの維持管理への理解醸成を推進。

市民生活を支えている様々なインフラは、高度経済成長期に建設された施設が多く、今後同時期に老朽化に伴う更新や修繕の時期を迎えます。

特に、更新や修繕が必要な橋梁は順次、工事に取り組んでいますが、円滑な事業の実施には市民の理解や協力が必要です。

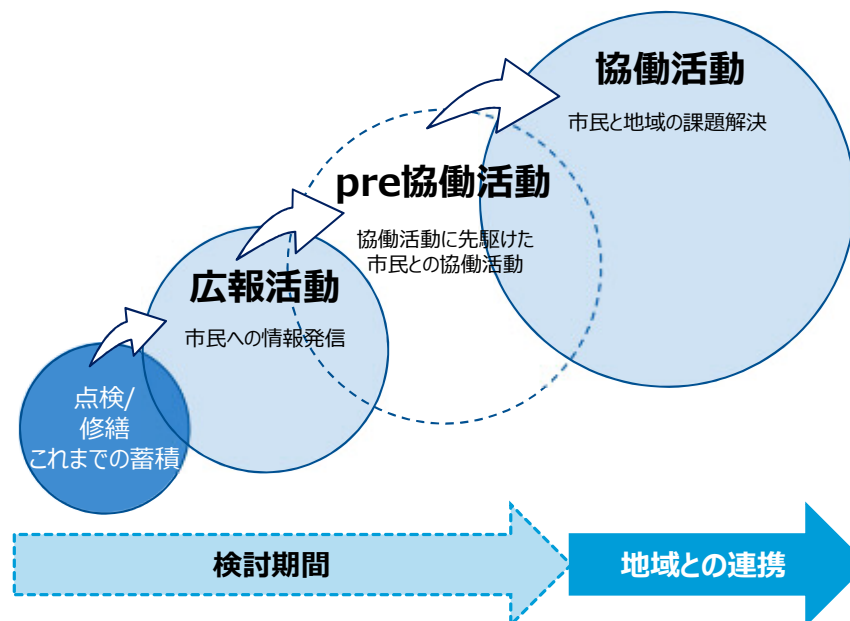
そこで、点検結果や、市内の橋梁の現状だけでなく、これまで検討してきた橋梁のアセットマネジメントに関連する取り組みの成果も含め、広く市民に公表し、[インフラ](#) [に対して興味・関心を持つことで、インフラ維持管理への理解醸成を推進します。](#)

2. 広報の考え方

これまでの取り組みを公表し、今後の協働活動を見据えた、効果的な手法を検討。

インフラの維持管理への理解を図った先に、地域と連携した協働活動への発展が考えられます。

市が市民に対して情報を発信する「[広報活動](#)」と地域の課題解決に向け、市民が主体となって取り組む「[協働活動](#)」がありますが、まずは広報活動に関する検討・取り組みを行うほか、協働活動の前段である、市民との「[pre協働活動](#)」に取り組めます。

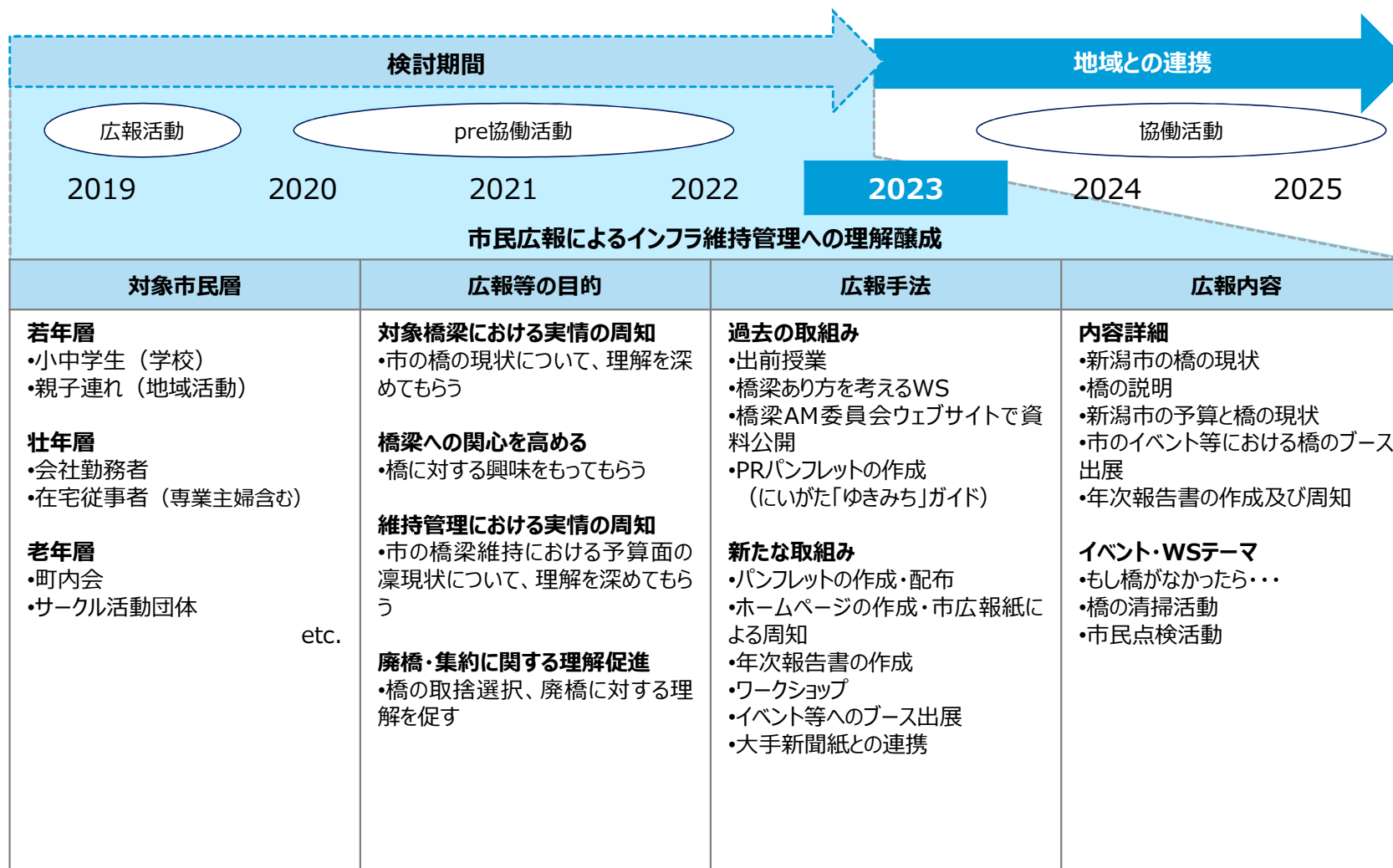


【1】広報に関する基本方針



3. 検討期間の計画

継続的な広報活動・pre協働活動を実施するために検討期間を設定。



【1】広報に関する基本方針

4. ウェブによる事例調査

広報・協働活動に関するウェブによる事例調査の結果を整理しました。将来の技術者として期待される、土木系専攻の学生を対象に、教材の一つとして広報活動を実施しているという事例も複数みられます。

No	分類	取り組み	実施主体	対象	取り組みの内容	効果・特徴など
1	広報	年報	東北地方整備局 他	住民	道路施設の現状やこれまで実施してきた道路メンテナンスに関する取り組み等をまとめた、「秋田県版道路メンテナンス年報」を公表	これまであまり公表されてこなかった、メンテナンスに関する様々な情報を「見える化」して発信
2		リーフレット	京都府道路メンテナンス会議	住民・観光客	観光情報を含めた地図に、老朽化対策を分かりやすくまとめた、リーフレットを毎年作成	手に取りやすく、持ち帰りも可能なため、より広範囲に情報の拡散が可能
3		パネル展示	近畿地方整備局	住民・観光客	道の駅やSA・PA、庁舎など、住民が自由に出入りすることが可能な施設に、道路の老朽化対策に関するパネルを展示	道路インフラの現状を広く地域住民の方に紹介する
4		諸元カード	北海道開発局	住民	橋梁の維持管理に関して留意していることや、安全を保つために努めていること等を記載したカード「北海道架け橋カード」を作成	幅広い世代を対象として、橋梁のインフラメンテナンスに関する理解促進を図る
5	協働	見学学習会	福井県コンクリート診断士	大学生・高専生	老朽化対策の重要性に関する講義を、実務を交えながら受講する	学校側が授業計画に位置付けることを検討
6			群馬県道路メンテナンス会議 他	土木専攻の大学生	実際に使われていた橋梁断面の損傷を見ながら、打音検査を実施するなど、高度な実務をする体験する	土木専攻の学生を対象とすることで、将来の土木技術者が、メンテナンスの重要性を学ぶ
7			埼玉県道路メンテナンス会議	親子	「橋のお医者さん」となり、ドローンや高所作業車での点検やテストハンマーを使った打音検査による音の違いを学ぶ	橋梁の損傷原因や老朽化の現状・対策の取り組みを学ぶ
8		出前講座	京都府道路メンテナンス会議	中学生	技術者が学校を訪問し、老朽化や強靱化対策等の講義や、VRによる高所点検の体験を実施する	普段身近に使っている道路や橋梁などの、老朽化を知ってもらう
9		アプリ活用	千葉県千葉市 他	住民	道路の損傷箇所をスマホから通報できるアプリ「ちばレポ」を市民に提供し、市民からの通報で、道路施設の損傷状況を把握する	損傷状況を把握することで、重大災害を未然に防止する
10		維持管理	山口県周南市	産官学民	「しゅうニャン橋守隊」として、清掃や点検活動を実施する	インフラメンテナンスの理解促進や、裾野拡大を図る
11			大隅河川国道事務所	小学生	「牛根横断歩道橋点検隊」として、通学路にある歩道橋の清掃や点検、美化活動を実施する	道路施設を大切に使うことを学ぶ
12			福島県平田村	住民	「ふくしまモデル」として、地域の橋梁の清掃や点検を実施する	

橋梁諸元カード（北海道道路メンテナンス会議）



出典:北海道道路メンテナンス会議資料

学習会（埼玉県道路メンテナンス会議）



出典:埼玉県道路メンテナンス会議資料

出前講座（京都府道路メンテナンス会議）



出典:京都府道路メンテナンス会議資料

【1】広報に関する基本方針



5.聞き取りによる他自治体における広報・協働活動の取り組み

インフラ資産の維持管理に関する広報・市民との協働活動について、各政令市及び東京都において具体的な取り組みを行っている事例を整理しました。

No	自治体名	広報活動	協働活動	その他
1	東京都	広報誌、合同防災訓練時におけるパネル展示	道路施設の異常や変状情報を端末機器で連絡	令和3年度までに市民協働システム事業を試行実施する
2	札幌市	インフラ点検・修繕のPRに「北海道かけ橋カード」を配布	—	—
3	仙台市	除雪に関する各種情報をパンフレットとウェブサイトにて広報	「河川愛護会」による河川の除草、清掃、巡視活動	—
4	さいたま市	補修整備に関する計画や道路の情報をウェブサイトにて広報	「さいたまロードサポート制度」による道路の清掃、ゴミ拾い、除草活動	—
5	千葉市	補修整備に関する計画や道路の情報をウェブサイトにて広報	「ちばしロードサポート制度」による道路の清掃、除草、草花の管理活動、「ちばレボ」による市と市民による課題解決	—
6	横浜市	公共施設・下水道におけるポスター、ウェブサイトによる広報	出前教室や施設の見学会、道路や河川の美化と清掃	—
7	相模原市	道路の維持管理に関する広報誌とウェブサイト広報	「子供道路パトロール」の実施、アダプト制度の活用、街美化活動	—
8	静岡市	アセットマネジメントパンフレットの全戸配布	道路サポーター事業における清掃、緑化、軽微な補修と損傷情報の提供	—
9	浜松市	駅前や大型ショッピングモールでの啓発活動	道路通報システム「いっちゃん！」、道路・街路樹・道路側溝の美化活動	—
10	名古屋市	維持管理に関してウェブサイト、ブログにて広報	—	—
11	京都市	「ふれあいまつり」等への出展と啓発活動	出前事業、道路通報システム「みつけ隊」、板柵しがらの共同設置	市民協働推進指針を策定
12	大阪市	維持管理に関してウェブサイト、ポスター展示にて広報	遊歩道や植樹帯清掃等の認定	—
13	堺市	維持管理に関してウェブサイト、ポスター展示にて広報	LINEによる各種通報システムの本格導入を検討	—
14	神戸市	維持管理に関してウェブサイト、ポスター展示にて広報	—	—
15	北九州市	道路サポーターに関してウェブサイトにて広報	道路異常の通報、「道路サポーター」による清掃と花壇の整理	—
16	福岡市	—	「福岡市道路サポーター制度」による道路の清掃・美化と破損箇所の通報	—
17	熊本市	ボランティア制度に関してウェブサイト、パンフレットにて周知	「道路ふれあい美化ボランティア制度」による美化活動の支援	制度について自治会長全体研修会等でも周知を行う予定

【2】広報に関する具体的取り組み（案）

1. 広報活動の取り組み検討

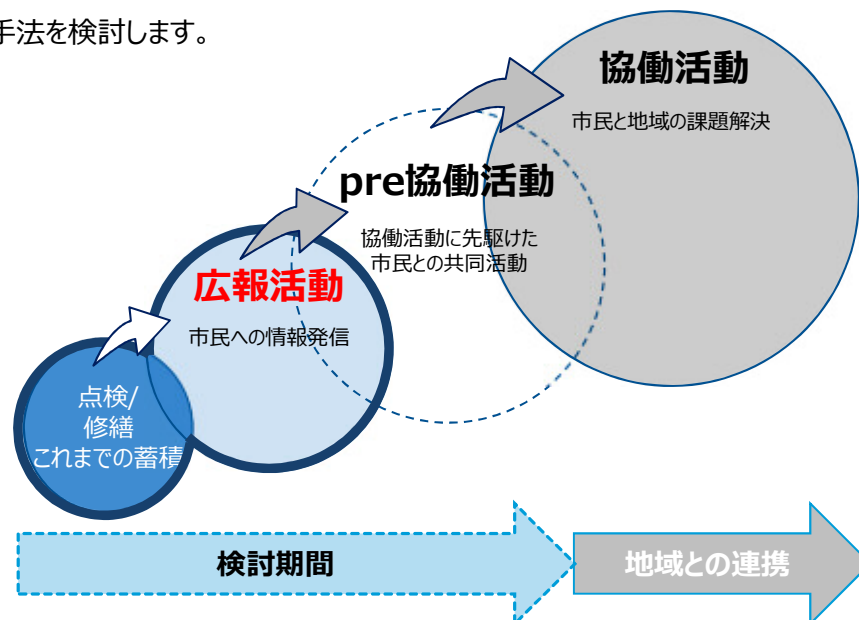
(1) これまでの活動

HPへのアクセスの課題や、広報資料は専門用語が多いことも踏まえ、市民に届く広報手法を検討。

本市では橋の定期点検結果などの維持管理情報を、市のHPに掲載していますが、アクセス方法は容易でないほか、専門的で難しい内容の資料も多いため、十分に情報発信しているとは言えない状況と言えます。

一方、新潟市の道路除雪について掲載した道路除雪PRパンフレット「にいがた『ゆきみち』ガイド」は、市民が親しみやすい少量の冊子で、ウェブページでダウンロードできるほか、区役所建設課での配布を行っています。冬季に必要な不可欠な情報を簡潔にまとめていて、手に取りやすいものとなっています。

このような事例も参考とし、最適な広報手法を検討します。



【2】広報に関する具体的取り組み（案）

（2）広報手法の整理

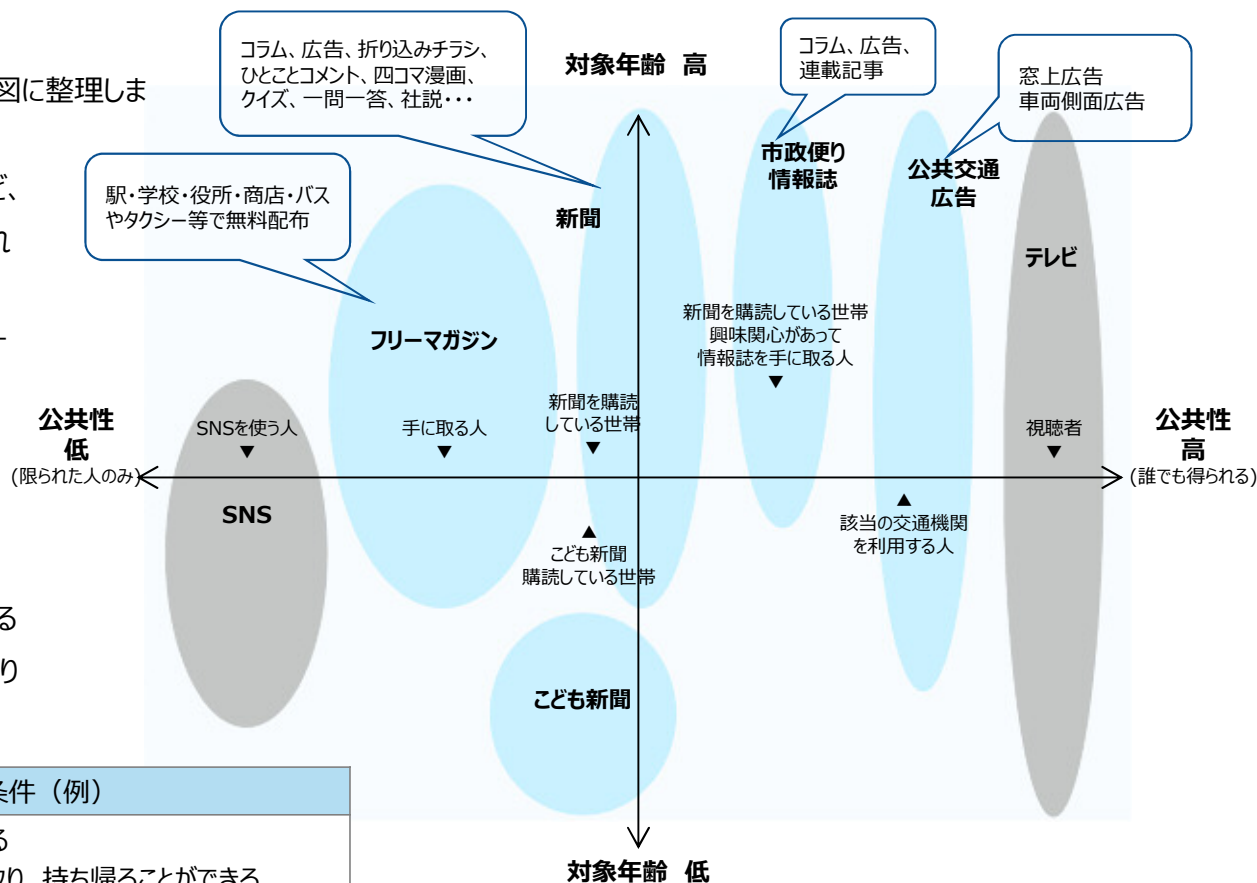
新聞・テレビをはじめさまざまな広報手法があり、適した手法を絞り込むため、それぞれの特徴を整理。

（ア）広報手法の整理

広報活動として広く活用されている一般的な手法を右図に整理しました。

公共性が高い手法として、テレビや公共交通の広告など、不特定多数の市民が日常的に利用するツールが挙げられます。

一方、公共性が低い手法としては、SNSのように活用することが可能な層が限定される手法が挙げられます。



（イ）広報活動案の絞り込みのポイント

具体的にどのような工夫によって市民に受け取ってもらえる情報を提供できるのか、以下のポイントから広報活動の取り組み案を絞り込みます。

	ポイントとなる条件（例）
情報を得る場所	<ul style="list-style-type: none"> 新聞や回覧板のように配布される 庁舎や市の施設で自由に受け取り、持ち帰ることができる 市のウェブサイトで自由に閲覧することができる
知ってよかったと思う付加価値	<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすいデザイン ページ数や文章量など、受け取る側の負担にならない 専門性が高くなく、市民が読み易い 市民に馴染みのある文言 豆知識などのコラムもあり、楽しみながら読むことができる

【2】広報に関する具体的取り組み（案）

（3）取り組みの検討

（ア）広報活動の目的

橋梁維持管理について積極的に情報発信することで、橋梁について興味・関心を持ってもらう。

（イ）情報発信の工夫

- ✓ 専門用語をなるべく使用せず、親しみやすい文言を使用した広報
- ✓ バスなどの公共機関の広告スペースを活用した広報
- ✓ 異業種の媒体を活用し、注目度が高まる広報
- ✓ 地域に密着した理髪・美容業界との連携による、口コミ広報
- ✓ 市民向けパンフレットとしてウェブ上で広報資料の公表を行う
- ✓ QRコードを活用し、スマホ世代がアクセスしやすい広報

インフラの維持管理に関する内容は、日常用語とは異なり専門性も高いため、市民に親しみやすいよう、易しい用語や文章に置き換えるなどの工夫が必要。

（ウ）具体的取り組み（案）

橋梁の基本的な知識や、本市の橋梁維持管理の状況などについて、幅広い年齢層が学習できる情報発信リーフレットを作成。

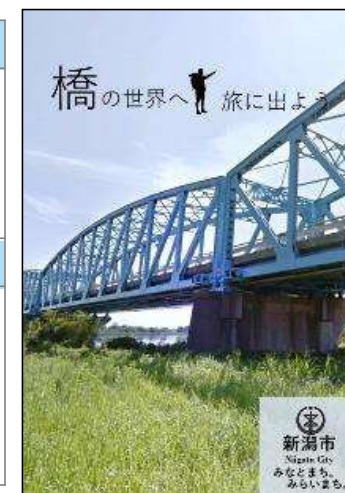
他自治体の事例を踏まえ、新潟市が伝えたいことと、市民が知りたいことを十分に擦り合わせることが重要と考えています。

点検や工事の実施計画・実施状況を知ってもらうことも重要ですが、橋梁に関する基本的な知識を学ぶ機会が少ないため、まずは橋梁の構造や、歴史・役割など、橋に関する基本的な情報をまとめたリーフレットを作成します。

さらに、新潟市の橋梁の維持管理に関する情報などを盛り込み、2次元コードでリンクを作るなど、リーフレットから新潟市のウェブページにアクセスできるよう工夫します。

新潟市が伝えたいこと	
• 橋梁の基本的な知識	• 点検状況や結果の報告
• 市内にある橋梁	• 工事の実施状況
• 市が管理している橋梁	• 橋梁に関連して取り組んでいること

市民が知りたいこと	
• 橋梁ってなに	• 安全のために取り組んでいること
• 橋梁の役割	• 市内にある橋梁について
• 橋梁の安全性	• 維持管理費の実績と計画



【2】広報に関する具体的取り組み（案）

2. pre協働活動の取り組み検討

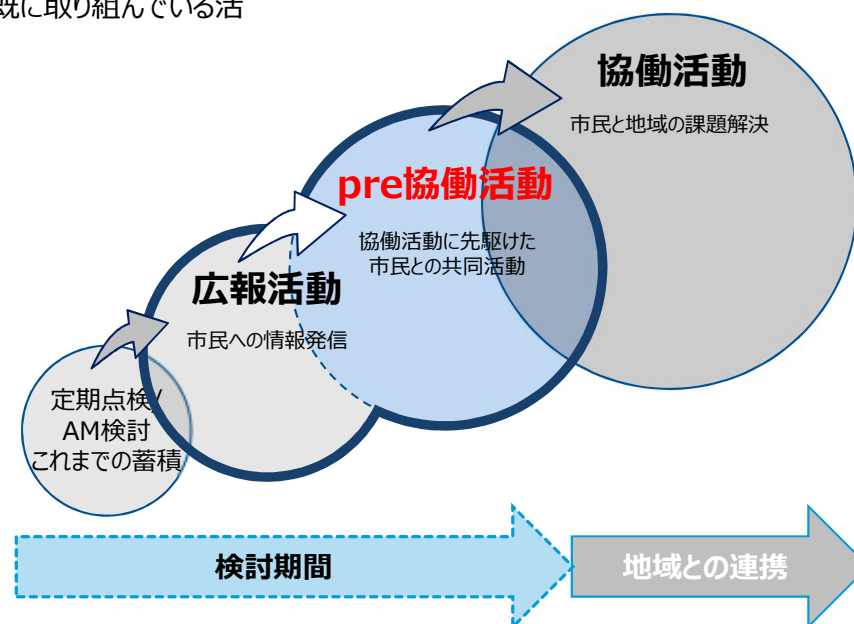
(1) これまでの活動

インフラの維持管理関連での協働活動の事例は少ない。

新潟市では平成16年に開設した市民活動支援センターをはじめとする様々な団体で、活発な協働活動が実施されています。

しかし、教育や福祉の分野における市民活動は盛んであるものの、市民活動団体と行政が協力した、市民や地域のための新しい公共という考えに基づいた、インフラ維持管理の協働活動はあまり浸透していない状況です。

特に、インフラの維持管理に関連した協働活動の事例は少ないため、他自治体で既に取り組んでいる活動なども参考とし、協働活動に繋がるような市民との「pre」協働活動を検討します。



【2】広報に関する具体的取り組み（案）

（2）pre協働活動手法の整理

「学習」、「体験」、「意見交換」それぞれの特徴を整理し、継続性の高いpre協働活動手法を検討。

協働活動を、「学習」、「体験」、「意見交換」に分類。市民の参加し易さ、参加の対象年齢、単発のイベントではなく今後も継続し易い活動であるか、今後この活動をきっかけに次の段階の活動に発展する可能性があるか等の切り口から、それぞれの活動を整理し、新潟市に最適な協働活動の手法を選定します。

【 学習 】

専門家からマニアックな話を聞いて学習する

特徴	手法例	参加者	協力
受け取る側の熱意に影響を受ける 専門家の話を聞くことができる 学校や生涯学習センターでの開催 総合学習や道徳の一環と位置付け	講座 出前授業	住民 中学生 高校生 大学生	設計業者 施工業者 有識者 技術者OB 地域住民



中学校での出前講座の様子

【 体験 】

記憶に残る楽しい体験をする

特徴	手法例	参加者	協力
直接触れることで記憶に残りやすい 実作業者の声を聞くことが可能 安全確保を含めた十分な事前準備が必要 既存イベント等との連携が可能 対象年齢を問わない	現場見学 点検作業体験 工事作業体験 高所作業車の見学 点検ロボットの見学 模型製作 船から橋を見上げる	親子 小学生 中学生	施工業者 点検業者 大学生 研究室



中学生による橋梁のクラフト作成

【 意見交換 】

地域の人と橋梁のあり方について意見交換をしながら考える

特徴	手法例	参加者	協力
参加者が理解を深めている状況が望ましい 参加者が限定的になる 時間をかけて取り組むこと場合もある 多少専門的な内容でも実現しやすい	討論会 研究会 発表	中学生 高校生 大学生 地域住民	教授などの有識者 NPO法人



地域住民とのワークショップの様子

■ 協働活動案の絞り込みのポイント

一般的に「体験型」が最も人に伝えやすく、記憶に残りやすい手法です。どのような取り組みがインフラへの興味・関心を与えるのか、その切り口から協働活動の取り組み案を絞り込みます。

	対象	協働活動を始めることでの狙い（例）
学生	小学生	活動の楽しさ、 維持管理車両や機材へのプラスの感情
	中学生	活動の楽しさ、将来に繋がる、 維持管理車両や機材へのプラスの感情 土木への興味関心、地域との交流
	高校生・大学生	将来に繋がる、地域貢献、 インフラ維持管理への興味関心 研究テーマとしての発展、地域への愛着
他住民	学生の親、 祖父母	地域への安心・信頼、 子どもの取り組みへの興味関心 インフラ維持管理への理解、 協働活動への興味関心
	一般市民	地域への安心・信頼、地域への愛着 インフラ維持管理への理解、 協働活動への興味関心、地域交流、
	高齢者	地域への安心・信頼、地域への愛着、 インフラ維持管理への理解、 協働活動への興味関心、若い世代との交流
	土木技術者OB	知識や経験の活用、地域交流

【2】広報に関する具体的取り組み（案）

（3）取り組みの検討

（ア）pre協働活動の目的

あたりまえにある「橋梁」を身近な存在として親しみをもってもらい、維持管理の必要性について知ってもらう。

（イ）取り組み案

- ✓ AR技術を活用した市内の橋めぐり
- ✓ 小中学校近隣の橋梁を対象とした、小中学生による名づけ親企画
- ✓ 技術者などの専門家が帯同して、街あるきをしながらの点検体験
- ✓ 市内の各地区を代表する橋梁でスタンプを作成し、スタンプラリー
- ✓ 市が管理する橋梁を対象とした写真コンテスト

最も伝えやすい体験型で、広報のツールとして作成する情報発信リーフレットを活用するなど、参加者が楽しみながら記憶に残すことのできる取り組みを選定します。

（ウ）具体的取り組み（案）

技術者などの専門家が帯同し、市内の橋梁を見学するツアーと無名橋の名づけ親企画を実施。

橋ツアー企画の概要

企画名	新潟市の橋梁探検隊		
開催時期	7～8月（夏休み期間中）		
実施対象	小学生、保護者		
定員	20人程度		
移動手段	徒歩	参加費	無料
実施主体	新潟市	サポーター	ME新潟、AM検討委員、専門家etc.
内容	<ul style="list-style-type: none">・市が管理しているいくつかの橋梁をめぐり、橋面や桁下、全景などそれぞれの安全な位置から見学する・橋梁の構造を、実物を見ながら学ぶ・日頃利用する際とは異なる視点で橋梁を見つめ、新たな発見を楽しむ・専門家から橋梁に関する豆知識などを聞きながら見学することで、楽しく、記憶に残る体験となる		

■企画の実現にあたっての課題

実現に向けて、以下のような課題が想定されるため、今後これらの解決に向け、検討を進めます。

① 関係機関・部署（外部・内部）との調整

土木総務課が主体となるものの、サポーターとしてME新潟をはじめとした専門家の支援を受けることを想定しているほか、他課との連携が必要な場合もあるため、予め役割分担を行い、それぞれとの調整を十分に行う必要。

② 安全の確保

万が一に備え、イベント当日のみ適用されるイベント保険への加入を行う。また、集団で移動するため、安全などに配慮したルートを選定と、安全な見学場所を確保するため、予め下見を行うなど準備が必要。

【2】広報に関する具体的取り組み（案）

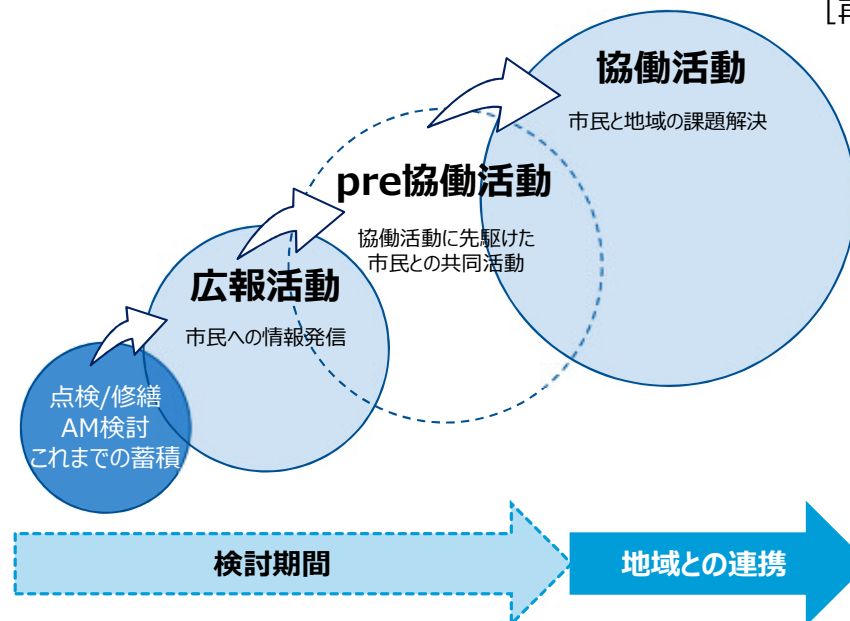
3. 今後の取り組み

ウェブサイトが発信する情報へのアクセス増大を目指したHP改良案の検討と、pre協働活動に向けた具体的な準備。

今後の取り組みとして、広報活動では、リーフレットに掲載している新潟市のウェブサイトについて、市民がよりHPへアクセスしやすくなるような改良案を検討します。

pre協働活動では、今年度検討する企画の実現に向け、関係機関との調整など、より具体的な準備を早期より行い、課題の整理および今後の取り組みの方向性の検討を進めます。

[再掲]



	広報活動	pre協働活動	協働活動
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 事例調査 広報手法の整理と検討 広報ツールとなるリーフレット案作成 	<ul style="list-style-type: none"> 事例調査 pre協働活動の案を検討 活動案（橋梁見学ツアー＆名付け親）の企画書作成 	<ul style="list-style-type: none"> 事例調査 協働活動の可能性検討
来年度の取り組み（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市の橋梁に関連したウェブサイトについて、アクセス増大の改良案の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁見学ツアー＆名付け親イベントの実施検討（再来年度の実施を想定） 	<ul style="list-style-type: none"> 協働活動の可能性検討（継続）